



地域医療連携室だより

消化器内科からのお知らせ



医師会の先生方におかれましては、平素より格別の御高配を賜り有り難うございます。昨年度は、延べ約1200人以上のご紹介患者様を当科での診療に繋げさせていただきました。重ねて御礼申し上げます。本年度は、3人の新たなメンバーを迎え、スタッフ12人の体制で診療にあたっています。消化器内科は守備範囲の広い診療科ですが、それぞれの領域の専門医を配し、質の高い医療の提供を目指しています。

消化器内視鏡センターでは、昨年度約8000件の内視鏡検査、治療を行いました。消化管出血、急性胆管炎をはじめとした消化器救急疾患は非常に多く、ERとも連携しながら迅速な対応に努めています。

昨年度の新入院患者数は延べ1500人以上でしたが、このうち悪性腫瘍の診療には特に注力しています。消化管領域では、健診センターとの協働で早期癌の発見に力を入れており、鎮静下での安全な内視鏡検査、治療が行えるように設備、スタッフを整えています。胆膵領域では、超音波内視鏡検査や胆膵内視鏡処置による膵癌の早期発見や内視鏡的胆道再建に努めています。肝癌は従来の治療(切除、焼灼、塞栓)に加え、全身薬物療法が進歩し、集学的治療による予後の向上を目指しています。免疫チェックポイント阻害剤、分子標的薬の登場により、癌薬物治療はめざましく進歩しています。化学療法部、癌認定薬剤師らとカンファレンスを持ちながら最適な治療の実践に努めています。

迅速、丁寧、かつ良質の治療をご提供できるよう心掛けています。本年度もどうぞ宜しくお願いいたします。

● 外来担当表

	月	火	水	木	金
1診 (再診)	諏訪	寄木	全	矢原 (1,3,5週) 岩破 (2,4週)	大井 (1,3,5週) 依岡 (2,4週)
2診 (再診)	中島	益澤	高見	城	益澤 (1,3,5週) 城 (2,4週)
3診 (新患)	高見	全	寄木 (1,3週) 諏訪 (2,4週) 交代制 (5週)	中島 (1,3,5週) 交代制 (2,4週)	城 (1,3週) 益澤 (2,4週) 交代制 (5週)



Instagram
消化器内視鏡センター
インスタグラム
はじめました。

内視鏡センターで活躍する臨床工学技士!!

医学の進歩とともに医療機器も進化し、医療機器の安全をつかさどる臨床工学技士も年々ニーズが高まっています。内視鏡センターにおいてもスコープを始めとした医療機器がたくさんあり、その管理を6名の臨床工学技士が行っています。今回は、内視鏡センターにおける臨床工学技士の主な業務3つをご紹介します。

1. 医師のサポート業務

この4月から医師の働き方改革の新制度が開始となりましたが、当院では先駆けて2019年から、内視鏡を用いた検査や治療の際、臨床工学技士が医師のサポートを行っています。治療の際に使用する電気メスやデバイスの準備、医師の介助業務など、医師、看護師と連携をとりながら治療が円滑に進むように努めています。

2. 医療機器の保守管理業務

毎朝検査を行う前にスコープや内視鏡システムが適切に使用できるか始業前点検を行い、また、スコープの劣化や故障を防ぐための日常点検も行っています。特にスコープは使用していく中で角度不足の指摘が多いため、使用頻度に伴い点検に出せるようなルールを決めて保守点検を行っています。万が一修理が必要な場合にはメーカーと連携をとり、検査に支障のないようにしています。



3. 物品管理

日々検査を行う上で、医療機器だけでなくさまざまな物品が必要になってきます。さらに当院では休日や夜間にも緊急検査対応していますので、いつでも検査ができるように必要な物品を常に準備しておく必要があります。そこで臨床工学技士が検査の予定に合わせて余裕をもって物品を管理しています。



以上、内視鏡センターにおける臨床工学技士の主な業務3つを紹介しました。今後、内視鏡AIなど、ますます高度化する内視鏡分野に対して、臨床工学技士も医療機器の専門家として、患者様の安心・安全な治療環境を提供できるよう、地域の皆様と共に努力してまいります。

Instagram



OTSUCITYHOSPITAL_OFFICIAL

HP



<https://och.or.jp/>

発行元

地方独立行政法人 市立大津市民病院
地域医療連携支援センター 地域医療連携室
Tel. 077-526-8192 (直通) Fax. 077-522-0192

業務時間

月～金曜日：午前8時30分～午後7時30分
土曜日：午前8時30分～午後12時30分